新潟県の産業、観光、祭り情報

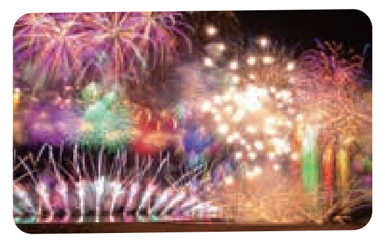
写真提供／新潟県観光協会

上越市立水族博物館うみがたり
（上越市）

1934年開館、2018年に「うみがたり」という愛称でリニューアルオープンした水族博物館。日本海をテーマにした「うみがたり大水槽」や、360度アクリルガラスの海中トンネル「うみがたりチューブ」など、日本海に生息する生きものを間近で見ることができます。

山本五十六記念館
（長岡市）

しなやかかつ強い心で生きた連合艦隊司令長官山本五十六の人間性を語り伝えたいと願う人々により建設されました。戦前にアメリカに駐在し、見聞を広めた経験から山本は日米開戦に最後まで反対した人物でもありました。



ぎおん柏崎まつり海の大花火大会
毎年7月26日開催
（柏崎市）

「越後三大花火」のひとつ、通称「海の大花火大会」。昭和25年、京文化を伝える八坂神社の「祇園祭」（奉納花火）と「商工祭」が合流。尺玉ワイド100発一斉打ちなど迫力ある企画も人気です。

ヒスイ海岸ヒスイ拾い
（糸魚川市）

糸魚川市の特産品ヒスイは、日本鉱物科学会により国の石に選定され、2022年には新潟県の石に指定されています。ヒスイ海岸ではさまざまな種類の石ころを見つけることができ、運が良ければ貴重なヒスイを見つけられるかもしれません。写真提供：一般社団法人 糸魚川市観光協会

三条の鍛冶技術金属加工製品
（三条市）

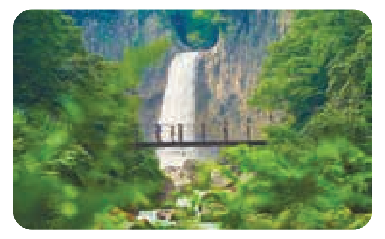
野鍛冶に端を発するといわれる鍛冶のまち三条。鍛冶を基盤に発展した金属加工技術で産み出される製品は高い品質を誇り、現在では作業工具、刃物、アウトドア用品、石油暖房機、住設機器など金属加工製品の一大産地となりました。

燕三条トレードショウ2024
令和6年9月26日～27日
燕三条地場産業振興センター
（燕市）

燕三条の企業80社以上が出展するバイヤー向け（BtoB）の展示会です。国内トップシェアを誇るカトラリーや包丁、日用品・工具や厨房機器、家庭向けキッチンツール等、多種多様な商品をご覧いただけます。

加茂山公園青海神社
（加茂市）

JR加茂駅から徒歩5分にある加茂山公園は、春は雪椿や桜、秋は一面に広がる鮮やかな紅葉と美しい自然が楽しめます。加茂山に鎮座する青海神社は、賀茂別雷神社（上賀茂神社）と賀茂御祖神社（下鴨神社）の御分霊を祀る726年創建の由緒ある神社です。



苗名滝（なえなたき）
（妙高市）

水しぶきを上げ、地響きがするほどの轟音とともに落ちるさまは迫力満点。落差55m、新潟と長野の県境を流れる関川にかかる苗名滝は、日本の滝百選のひとつに選ばれています。

世界遺産「佐渡島の金山」構成資産のご紹介

相川金銀山（あいかわきんぎんざん）

Aikawa Gold and Silver Mine

相川金銀山の本格的な開発は慶長6（1601）年に始まり、佐渡は徳川幕府の直轄地とされました。石見や生野、甲斐などから山師（やまし）と呼ばれる鉱山経営者が集められ、最先端の測量、排水技術、金銀製錬技術（灰吹（はいふき）法、硫黄分銀法、焼金（やききん）法）が導入されました。これらの技術により、相川金銀山は世界的にも有数の金産出量を誇ることとなり、その後、佐渡の技術は全国各地の鉱山に伝えられました。

採掘から小判製造まで行った鉱山は国内でも佐渡だけであり、その工程を鮮やかに描いた鉱山絵巻が100点以上も現存します。絵巻からは鉱山技術や作業工程の変遷を詳細にたどることができます。

佐渡奉行所（復元）

鶴子銀山（つるしぎんざん）

Tsurushi Silver Mine

16世紀中頃に発見された佐渡最大の銀山で、600か所を超える採掘跡が確認されています。地表近くの鉱石を掘り取る“露頭掘り”や、鉱脈を追いかけながら掘り進む“ひ追い掘り”、いくつもの鉱脈を横断するように水平なトンネルを掘る“坑道掘り”など、時代の異なる様々な採掘方法の痕跡を見ることができます。さらに、代官屋敷跡や鉱山集積跡などの銀山に関連する遺跡も多く発見されています。

大滝間歩 鶴子銀山を代表する坑道の一つ
（撮影：西山芳一）

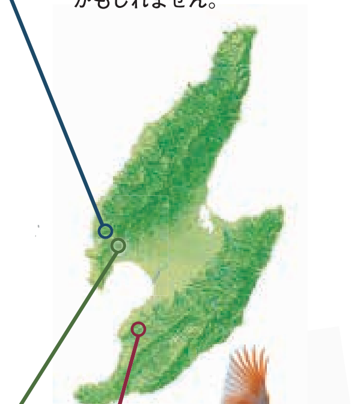
西三川砂金山（にしみかわさきんざん）

Nishimikawa Placer Gold Mine

佐渡における金銀産出の歴史は平安時代にさかのぼり、11世紀に成立したとされる『今昔物語集』に登場する砂金採取の場所が西三川砂金山とされています。

西三川砂金山では、山を掘り崩して地層の中にある砂金を含んだ土砂を水路に落とした後、堤の水を一気に流し込んで余分な土砂を洗い流す“大流（おおなが）し”と呼ばれる技法が用いられました。その際に必要な水を確保するため、水源から長い水路を設けて堤に大量の水をためておきました。こうした採掘跡や水路跡が広い範囲にわたり残っています。

砂金採掘跡のある山々と笹川集落



金山とおけさの島
佐渡島

佐渡は、東京23区の1.5倍の広さで人口約46,000人、豊かに変化する四季折々の彩りに恵まれた島です。少し足を延ばせばトキに会えるかもしれません。

トキ（朱鷺）

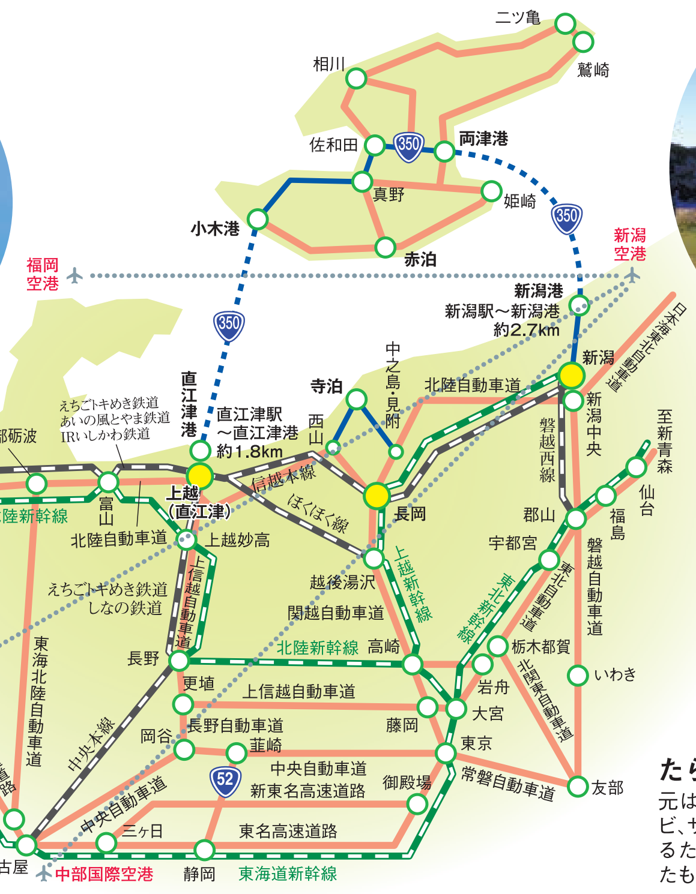
一時は絶滅寸前に追い込まれましたが、飼育下での繁殖が順調に進み、平成20年以降、佐渡島内での放鳥が進められています。

佐渡金銀山の主な歴史

令和	平成	昭和	大正	明治	江戸時代	安土桃山時代	室町時代	鎌倉時代	平安時代
	1989	1926	1912	1868	1603	1573	1336	1185	
	休山（1989）			相川金銀山・鶴子銀山が官営（政府直轄）となる（1869） 三菱へ払い下げ（1896）	大久保長安が佐渡代官就任（1603～1613） オランダへの小判流出（17世紀半ば～18世紀半ば）	上杉氏の佐渡支配（1589～1601） 相川金銀山の発見 佐渡が徳川領となる（1601）	鶴子銀山の発見（1542） 世阿弥の『金島書』に「こがねの島」の記述（15世紀）		『今昔物語集』「佐渡ノ国ニコソ金ノ花栄タル（11世紀）」の記述

西三川砂金山
鶴子銀山
相川金銀山

ジェットフォイル
新潟ー両津航路



佐渡おけさ
「選鉱踊り」から「佐渡おけさ」に改名された盆踊り唄

たらい舟
元はワカメやアワビ、サザエなどをとるために考案されたもの

ACCESS

■新潟港 ― 両津港
ジェットフォイル（高速船）で65分　カーフェリーで2時間30分

■両津港から路線バスで
「佐渡金山」行（約70分）又は「相川」行（約60分）～「相川」で下車後「佐渡金山」行乗換え（約10分）

■直江津港 ― 小木港
カーフェリーで2時間40分

■小木港から路線バスで
「相川」行（約90分）～「相川」で下車後「佐渡金山」行乗換え（約10分）
※「相川」行は「あかね」到着に接続

※時刻表・運賃等は、佐渡汽船・新潟交通佐渡ホームページでご確認下さい。

上空から見た「道遊の割戸」鉱脈を掘り進めた結果、山が大きく割られた様子がわかる

「佐渡島の金山」を代表する構成資産、相川鶴子金銀山遺跡の「道遊の割戸（どうゆうのわりと）」

砂金採り体験
千年の歴史ある砂金山で〝一攫千金〟＝西三川ゴールドパーク

「佐渡島（さど）の金山」世界遺産登録決定！

祝「佐渡島の金山」世界文化遺産登録決定

世界文化遺産登録を祝い挨拶する福田勝之新潟県商工会議所連合会会頭。後部モニターには現地で万歳する花角英世新潟県知事らの姿が映る＝新潟市中央区 7月27日　写真提供／新潟県庁

新潟県民の悲願成就 観光振興に期待

ユネスコ（国連教育科学文化機関）の世界遺産委員会は7月27日、「佐渡島（さど）の金山」を世界文化遺産に登録することを全会一致で決めた。国内暫定リストに記載された2010（平成22）年から14年の歳月を要した悲願の登録決定に、佐渡島と新潟県の関係者らは喜びと期待に沸いた。日本の世界遺産の総数は、文化遺産21件、自然遺産5件の計26件となった。

きらりうむ佐渡

大型映像・グラフィックによる金銀山の解説や観光案内所などがある「佐渡島の金山」観光の拠点

「佐渡島の金山」世界遺産としての価値

- ● 伝統的手工業による金銀生産のシステムの全体像を示す鉱山と鉱山集落・鉱山町の遺跡からなり、鉱山技術・生産工程のみならず管理・運営の仕組みまでをも物語る稀有な産業遺産です。
- ● 江戸時代、海外との交流が限られる中、ヨーロッパとは異なり、機械装置によらないシステムとして発展を遂げ、17世紀には世界最大級の金生産量を誇り、その後も世界に誇る品質の金を生産し続けました。
- ● 伝統的手工業による金生産の技術的・体制的な発展の最終到達点を示す遺産です。

ご挨拶

一般社団法人 新潟県商工会議所連合会
新潟商工会議所

会頭　**福田　勝之**

会議所ニュース〝佐渡島の金山〟世界遺産登録決定！特集の発行にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

先月7月27日、インドのニューデリーで開催された第46回世界遺産委員会において、「佐渡島の金山」が世界文化遺産として登録されることが決定しました。

2010（平成22）年に「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」という名称で世界遺産暫定一覧表に記載され、正式な世界遺産候補となって以降、14年におよぶ長い道のりでした。2015（平成27）年からは4年連続で推薦見送りが続くなど、苦しい時期もありましたが、ようやく悲願が成就いたしましたことを心から嬉しく思っております。これも偏に数多くの皆様のお力添えの賜物と、改めて深く感謝申し上げます。

さて、『佐渡島（さど）の金山』は、江戸時代の鎖国下において、伝統的手工業による技術を追求することで、西欧とは異なる進化を遂げ、最盛期は世界最大の金産出量を誇ったといわれています。操業停止から30年以上経った今でも、数々の遺構が豊かな自然の中に溶け込んで至るところに残されており、鉱山技術や生産システムの変遷のほぼ全てを見ることができる、人類の鉱山史にとっても非常に貴重で、世界的に稀有な鉱山遺跡群といえます。

新潟県内では、新潟県や佐渡市が中心となって、官民が連携してこの貴重な資産の保存・活用や、受入体制の整備、機運の醸成など様々な事業に取り組んでおり、私が共同代表を務めております「佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議」においても、約1500の会員団体が県内外で登録実現に向けた様々な活動を展開してまいりました。

その甲斐もございまして、新潟の、日本の宝が、「世界の宝」としてその価値を認めていただいたわけですが、世界遺産登録はゴールではなくスタートです。

これを契機に、日本だけでなく世界中から佐渡に人が集い、たくさんの新たな交流が生まれることと思いますが、世界に誇る「佐渡島の金山」の貴重な資産価値を多くの方々と共有し、また適切に維持・管理して後世に引き継いでいくためにも、引き続き積極的に取組を進めてまいります。

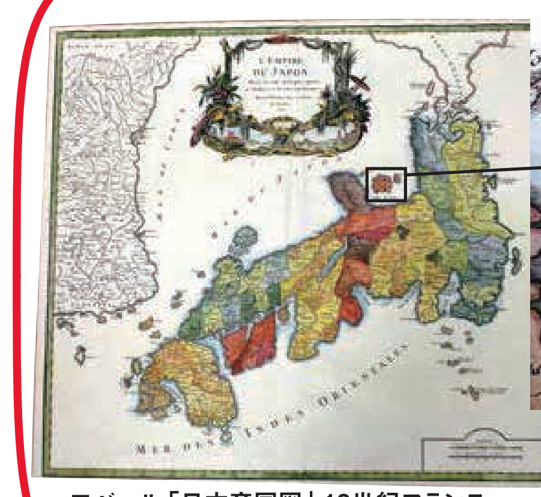
皆様方のさらなるご理解とご支援をお願いいたしますとともに、多くのお客様から佐渡にお越しいただき、佐渡の、そして新潟の素晴らしさに触れていただけることを願っております。

西三川砂金山の砂金
（個人所蔵）

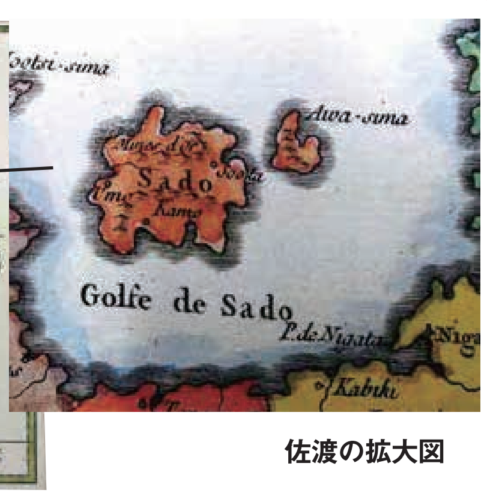
金鉱石
（株式会社ゴールデン佐渡所蔵）

徳川幕府を支え、海外にも渡った佐渡の金

佐渡では産出された金銀を用いて金銀小判の製造が行われました。小判は江戸に運ばれ、徳川幕府の財政、国内の経済を支える役割を担いました。江戸時代の初め、徳川幕府はいわゆる「鎖国」によって海外との貿易を制限し、金銀の流出を抑える政策を行いました。しかし、オランダとの貿易では、17世紀後半の約50年間に、佐渡を含め日本で製造されたおよそ100万両もの小判が国外に流出したと言われています。我が国最大の金の産出地であった「佐渡」は、18世紀のフランスの地図において金鉱山（Mines d'or）と記され、オランダ以外の国々でも注目されていたようです。



ロベール「日本帝国図」18世紀フランス
（鶴見大学図書館所蔵）



佐渡の拡大図

金を求めて「目に見える金」と「目に見えない金」

佐渡は日本最大の金鉱山として金を産出し続けました。佐渡には 2つのタイプの金鉱山があります。西三川砂金山の〝目に見える金〟である「砂金」と、相川金銀山の硬い「金鉱石」に含まれる〝見えない金〟。これらを効果的に得るために、最先端の技術と生産の仕組みが整えられました。

佐渡島の金山を巡る経緯

2021年12月	文化審議会が世界文化遺産の推薦候補として答申
22年1月	岸田文雄首相が推薦を表明
2月	23年の登録を目指して推薦書を提出
7月	政府が23年の登録を断念
23年1月	24年の登録を目指して構成内容を修正した推薦書を再提出
24年6月	ユネスコの諮問機関が「情報照会」を勧告
7月27日	ユネスコ世界遺産委員会が「登録」を決議

新潟県の産業、観光、祭り情報

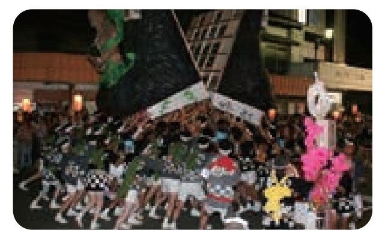
写真提供／新潟県観光協会

湊町文化を繋ぐ「新潟古町芸妓」（新潟市）

200年以上の伝統を今なお残す古町花街の象徴であり、磨き抜かれた芸と美しい所作で訪れた方をおもてなしいたします。

鉄道のまち新津「SLばんえつ物語号」
（新潟市秋葉区）

信越本線、磐越西線、羽越本線が乗り入れる鉄道の要衝として発展してきた新津。鉄道のまちを象徴する「SLばんえつ物語号」は、新津から会津若松まで 111kmを約3時間30分かけ、四季の移りかわりの中を走ります。



かめだ祭り大岩万燈押し合い
毎年8月25日・26日開催
（新潟市江南区亀田）

江戸時代に始まった亀田の諏訪大明神社の祭礼行事を起源とし、高さ18尺・巾12尺・重さ 120貫の岩をかたどった灯籠に飾りをつけ、若者が亀田木遣りに合わせてぶつけあいます。

村上大祭
毎年7月6・7日開催
国の重要無形民俗文化財指定
（村上市）

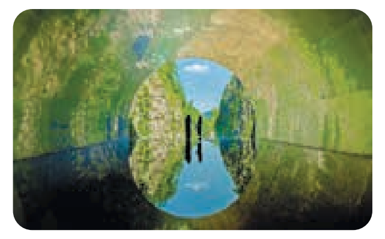
西奈彌羽黒神社の例大祭。「蒲原まつり」「柏崎えんま市」と並ぶ新潟三大高市（たかまち）の一つ。「おしゃぎり」という屋台が市中を練り歩く光景は壮観。県内外からの見物客で賑わいます。

月岡温泉
（新発田市）

大正4年に開湯した月岡温泉。石油を採掘している時に偶然温泉が出てきたことから湯治場として始まりました。硫黄の香りに包まれた温泉街には、旅館や飲食店、お土産屋が建ち並び、夕暮れになると艶やかな着物姿の芸妓たちが行き交う、情緒を感じる街並みが旅人を出迎えます。

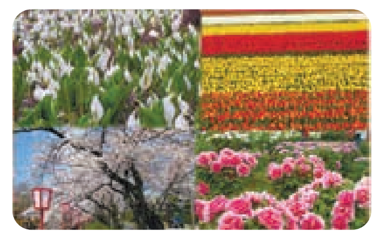
錦鯉
（小千谷市）

錦鯉の里小千谷市の生産地では、雪国の清らかな水と伝統の技法で育てられた本場の錦鯉を鑑賞することができます。国内はもちろんのこと、海外において原産地小千谷の錦鯉は高い評価を得ています。



大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024
11月10日（日）まで開催
火・水定休
※一部作品・施設により異なる場合あり
（十日町市）

十日町市と津南町では、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2024」を開催中。広大なエリアに300点以上の作品が点在。移り行く里山の四季と共にアート巡りを楽しんでみてはいかがでしょうか。
清津峡渓谷トンネル ©マ・ヤンソン／MADアーキテクツ「Tunnel of Light」



五泉四華
（五泉市）

五泉四華「水芭蕉」「桜」「チューリップ」「ぼたん」が咲く「花のまち五泉」。飲食店、菓子店や咲花温泉旅館等が参加する、五泉スタンプラリーを毎年3月から6月開催。抽選で五泉の特産品があたり、好評を集めています。

一般社団法人
新潟県商工会議所連合会
Federation of The Chamber of Commerce & Industry of Niigata Prefecture
会頭 福田　勝之
〒950-0078　新潟市中央区万代島 5-1 万代島ビル７階　電話：025-290-4424　FAX：025-290-4421

佐渡島の金山 世界遺産登録決定をお祝い申し上げます。　私たちは新潟県の更なる発展と観光振興に取り組んでまいります。

新潟商工会議所
NIIGATA Chamber of Commerce & Industry
会頭　福田　勝之
〒950-8711
新潟市中央区万代島 5-1
万代島ビル 7F
電話：025-290-4411
FAX：025-290-4421

上越商工会議所
Joetsu Chamber of Commerce and Industry
会頭　髙橋　信雄
〒943-8502
新潟県上越市新光町 1-10-20
電話：025-525-1185
FAX：025-522-0171

長岡商工会議所
The Nagaoka Chamber of Commerce and Industry
会頭　大原　興人
〒940-0071
新潟県長岡市表町３丁目1-8
リナシエビル３
電話：0258-32-4500
FAX：0258-34-4500

柏崎商工会議所
The Kashiwazaki Chamber of Commerce and Industry
会頭　西川　正男
〒945-0051
新潟県柏崎市東本町 1-2-16
モーリエ２ビル４階
電話：0257-22-3161
FAX：0257-22-3570

三条商工会議所
Sanjo Chamber of Commerce and Industry
会頭　兼古　耕一
〒955-8603
新潟県三条市須頃 1-20
電話：0256-32-1311
FAX：0256-32-1310

新発田商工会議所
Shibata Chamber of Commerce and Industry
会頭　佐藤　哲也
〒957-8550
新潟県新発田市中央町4-10-10
電話：0254-22-2757
FAX：0254-23-5885

新津商工会議所
Niitsu Chamber of Commerce and Industry
会頭　前田　正実
〒956-0864
新潟市秋葉区新津本町3-1-7
電話：0250-22-0121
FAX：0250-25-2332

燕商工会議所
Tsubame Chamber of Commerce and Industry
会頭　田野　隆夫
〒959-1289
新潟県燕市東太田6856
電話：0256-63-4116
FAX：0256-63-8705

小千谷商工会議所
Ojiya Chamber of Commerce and Industry
会頭　髙野　史郎
〒947-8691
新潟県小千谷市本町 2-1-5
電話：0258-81-1300
FAX：0258-83-3632

糸魚川商工会議所
ITOIGAWA Chamber of Commerce and Industry
会頭　髙瀬　吉洋
〒941-8601
新潟県糸魚川市寺町 2-8-16
電話：025-552-1225
FAX：025-552-8860

村上商工会議所
MURAKAMI Chamber of Commerce & Industry
会頭　川崎　久
〒958-0841
新潟県村上市小町4-10
電話：0254-53-4257
FAX：0254-53-0172

十日町商工会議所
Tokamachi Chamber of Commerce and Industry
会頭　西方勝一郎
〒948-0088
新潟県十日町市駅通り17番地
電話：025-757-5111
FAX：025-752-6044

新井商工会議所
ARAI Chamber of Commerce & Industry
会頭　西脇　治雄
〒944-0048
新潟県妙高市下町７番１号
電話：0255-72-2425
FAX：0255-73-7525

加茂商工会議所
The Kamo Chamber of Commerce and Industry
会頭　木戸　信輔
〒959-1313
新潟県加茂市幸町２-２-４
電話：0256-52-1740
FAX：0256-52-4100

五泉商工会議所
Gosen Chamber of Commerce and Industry
会頭　伊藤　敏夫
〒959-1821
新潟県五泉市赤海 845-1
電話：0250-43-5551
FAX：0250-42-1151

亀田商工会議所
The Kameda Chamber of Commerce & Industry
会頭　五十嵐　豊
〒950-0125
新潟市江南区亀田新明町2-2-30
電話：025-382-5111
FAX：025-382-5114